

だけにしては尻切れとんぼになつてアンケートの意味がない。多くの住民の声を基に、実践の糸口を小刻みに解決し、実の成果を要望する。

これからは各町内において、より多くの運動・サークル等を企画し、呼びかけ、又住民はそれ等に対し誠意と積極的行動を示し、この様な場こそ近隣の親睦も計られ協力も生じて来る。香川地区は今後増々発展するたためにも、居住する人も多大にしている中、地元・新居の層をなくし、明るくあたたかい香川の自治会、自治会あつての住民、今後も益々自治会の活躍を期待したい。

交流・親睦は参加から

第一 天野 綾子

私共家族が、当地に越して来てから満六年に成ります。当時、今の松風台当りは民家が数える程しかなく、ゴルフ場の見渡せる原っぱで大いに飛び回ったり、奥のゴルフ場の下などへ、自転車遊びにも行ったものでした。

当時、お隣りさんと言つても区画の中は、まだ二軒、子どもと共々一日でも早く、当地に馴染もうと二軒で隣り組へ仲間に入れて下さる様、お願ひし、気持ちよく入れて頂きまし。幼稚園の方も、紹介して頂き元気に通園、子供会へも自然に仲間に加わってもらい、クリスマス会やお別れ会に、喜んで出掛けて行つたのを思い出します。六年の歳月が過ぎ去つた今日、松風台は網の目の様に、同じ様な家がびっしり立ち並び、越して来た当時の様な素晴らしい眺など、とうてい見られるものではないかもしれません。当組も、一軒、二軒と増え、地区を二つに分組、そろそろ三つの分組を要請しなければならぬ程に、発展しました。

短かい歳月の中で、著しい変動と共に、香川に住む以上、地域の事が知りたくなりました。何んにも出来ないの好奇心が旺盛で、PTA、子ども会、町内組長、自治会とお手伝いをしながら、少しづつ香川地区の事

が分る様になりました。自分も、お手伝いをして見てはじめて町内の皆さんにも、協力の念が通じ、協力して頂く事により地域の方々の交流や親睦にもなるという実感を持つてはなれないでしょうか。

役員や担当者ばかりの諸行事等にならず、全会員一人一人が協力して頂ける様な町内会、自治会に、今後も発展していく事を祈ります。

会員の会員による

第二 高野 利昭

実施時点から結果に興味をもつていたが、集計された数字、会員各層の声を接し、感想を述べてみたい。

まず、20才代45・8%、30才代38・5%といふ多くの方々が永住する意志がないという数値に、環境良好と思つている私は疑問を感じた。気候温暖、緑も空も美しい香川がなぜその年令層に魅力がないのか、生活信条等個人的事情を考慮にいれても理解しにくい。

会員の声の中から二つ点について考えてみたい。

第一点は、近隣との親睦。古くからの地元の方々との交流をいかにすべきという問題である。私自身、18年前に転居してきた当時をふりかえつてみるに、子供、運動会その他サークルを通して、自然に交流が生じ、古い方、新しい方等皆交わらずお世話になり親しくおつきあひいただいた記憶が鮮明である。人の出あひ交友はいかにあるべきかと考えることではなく自然に、自己の枠こもることなく信頼と親善の意志があれば解決するこ

第二点は、自治会への要望。批判に対する執行部のありかたの問題である。住民ニーズが多様化する中で対応には常々感謝しているが、厳しい批判、小さな声に対しても謙虚に耳を傾け、改善向上の論議をつくすべきであろう。「会員の会員による会員の自治会」であることを直視し、会員も執行部を子孫に残そう。

おわりに、膨大なアンケートの集計に敬意を表わすと同時に、将来も定期的に実施されることを切望する。

身近なことから解決

第二 新倉 昭子

大山、丹沢、箱根連山、姿のよい相模富士も一目。土地の気風も温和で穏やかな香川は、その昔より、相模線の誘致、神社仏閣の建立、道路拡張、香川小学校設立当時の緑化推進、最近では自治会館建設等と地道に地域自治活動に成果を挙げています。

明治、大正、昭和の十年頃までは僅か九十数戸、終戦時で二百戸あまり、そして今二千二百戸と急増している香川は、本来の地元の子弟はほんのわずかです。縁あつて茅ヶ崎に、香川に生活し、子どもを育てている方々のお子さんとつては、香川は「ふるさと」なのです。仮住いの方も、この香川が生活の場なのです。古い人と融和し、この土地をふるさとにしていかねばならないのです。

自治会活動にしても、今自分が何をしたらよいか、何をしなければならぬか。古き良きものを残し、古来の意見も耳を傾け、新しい生活環境を作り、文化を創るようすべきです。自分が関心がない、興味がないからと行事・活動そのものを否定することなく、一人ひとりが前向きに考え身近な所から解決しなければなりません。例えば、香川駅前の自転車問題、ゴミの出し方、後片付けなどから改善するのです。

自治会も体質改善する点があるかも知れませんが、役員は奉仕のという形でも成り立っていることを一般の人でも理解し、多くの方が関心をもち、ふるさと香川のために、時間の許す限り、まず参加という気持を持ってほしいと思います。

子や孫に誇れる香川に

第三 重田 正吉

よく十年ひと昔といわれるが、私がこの地に住んですてにふた昔。当時は農家を主とした五百世帯程の香川も、今は二千世帯のベッタウン化し、唯一の足である相模線の朝夕の混雑を身体で感じ、そのめざましい発展振りにも今昔の感もまた一入です。だが、住宅がふえ、商店ができ、道路がよくなるなどそこに住む人にとつてそれなりのメリットも大きい。反面、急激な変化に歪みも生じるもので、これはこの調査結果にも表われているのを感じます。

第一に、住民に隣人友好と共同意識の観念がうすれつつあることを示しています。二十年前ひと握りの転入者は、如何に地域に融けこむかを心掛けました。朝夕のあいさつは勿論、部落で行う道普請や清掃には、馴れぬ手に鉄や鎌を持って参加し、終つて汲むパイの茶碗酒に近隣の友好を温めたものです。

第二に、近代的な市民生活は「自治と連帯による社会づくり」といわれています。自治会の活動も「役員がやってくれるから」「大勢の中で私一人位は」という考え方の人が多いのは残念です。

二十年前と異り、地付、転入者といつても数の上では逆転しています。この中に生涯この香川に住みたい人が七三%もいます。私達の子や孫にとつてこの香川は生れ育つたふるさとです。子や孫に誇れる郷土香川に育てることこそ、私達の責任であり使命であると思ひます。

どれも今すぐ必要なこと

第三 今泉 公子

アンケート集計を見て思ひますこと。まず回収率が意外にひくかつたことにびっくりしました。私達の町づくりに役だつたための資料、一人一人が進んで記入し、すこしでも住み良い香川にして行くため、もつと多くの人に回答していただきたく思ひます。

生涯香川に住みたいと思つていられる方が七割以上もあるのに、対し、約半数の方は、災害が起つた時の広域避難場所も知

らない、災害に対して備えもない。近所のおつきあひもあまりない。自治会活動にもあまり加しない等、この地にこられて十年未満の方や世帯年令表から見て若い方が多いと云うことで、このような結果が出て来たのだと思ひますが、何とも割れない気持ちです。

自治会活動に取り組んだ場合まず何から手がけますか？と云う問に對し、道路問題、下水道問題、町づくり、ゴミ問題、教育問題、その他いろいろとご意見も出ています。どれを取り上げて今すぐ必要なことばかりでは行かないと思ひますが、まず出来ることから、明日とは云わず今日から自治会運営に役だたせていただきたいと思ひます。そして組の人達が手をつなぎ、町内の人へ、さらに香川の人達へと輪を広げ、住みよい美しい香川になりますように。

住民意識が低いのか？

第四 山本 日出子

香川に住んで十二年目、長男が小学校に行くようになりましてから、香川という土地に親密さが生まれてきたようです。

この度のアンケート集計、さぞたいへんなことだつたと思ひます。しかし、ようやく入して自治会が会員の意見をとり入れようとする姿勢がうかがわれてうれしく思ひました。

このアンケートの中で特に心をもちましたのは、近所づきあい、自治会活動の参加についてです。近所づきあいはあいつ程度、自治会活動の参加はあいつ程度、もしくはほとんど参加してないという割合が七十、八十パーセントで共通しております。これは香川の住民意識・自覚が低いというところも見えると思ひます。急激に新住民の増えたことも原因しているの

街づくりは隣近所から

第四 阿部 泰子

アンケート調査の集計を見せ

て頂き香川住民の全体的な姿がぼんやりと見えるが、見えた様に思ひます。世帯主の年令も四十代までの人が七割、香川に住んで十年未満が半分以上なのに驚きました。それだけに地域とのふれあひを求め、又そのふれあひの場として自治会の活動に期待している人が多いようである。それにしては同じ組の人を「ほとんど知らない」又は「半数くらい知っていない」が三割近くあるというのではどういふ事だろうか？ 組の人とは最も身近な自分の周囲の人達の事である。何かの時には近くの人達でお互いに助け合わねばならないのに「ほとんど知らない」ではいられないと思ひます。大きな輪よりもまず、小さな周囲の人達との輪を作つていかなければならない。意見として大分出されてい

るが近所の人との親睦を望んでいるがその機会がない、この事。これは是非、自治会の活動の中、組単位の会合を持つ機会をつくり、組員・組長・役員を通じて合えば一方通行になる事もなく

自治会活動に対して積極的に参加でき、地域の人の輪ができて思ひます。ゴミの問題にできる事もあるかも知れません。この様なアンケートも役員の方は大変と思ひますが、とても有意義であると思ひます。

香川に住んで十二年目、長男が小学校に行くようになりましてから、香川という土地に親密さが生まれてきたようです。

この度のアンケート集計、さぞたいへんなことだつたと思ひます。しかし、ようやく入して自治会が会員の意見をとり入れようとする姿勢がうかがわれてうれしく思ひました。

このアンケートの中で特に心をもちましたのは、近所づきあい、自治会活動の参加についてです。近所づきあいはあいつ程度、自治会活動の参加はあいつ程度、もしくはほとんど参加してないという割合が七十、八十パーセントで共通しております。これは香川の住民意識・自覚が低いというところも見えると思ひます。急激に新住民の増えたことも原因しているの

地域の生活環境の改善を望む声が圧倒的です。もし自治会活動にとりくむのなら、特に道路下水の問題を手がけたいという意欲のある方々の意見には感心させられると同時に、これは一香川だけの問題としておぼしき。最後に私自身香川の地域住民としての意識の低さを反省する

とともに、今後自治会活動は、このアンケート集計をいかして小さくは地域住民の仲間づくりから、大きくは道路、下水の行政問題にまでとりくんで行かれますよう、会員の意見、意向を大いにくみとり、前向きな姿勢をもつて、発展・活躍していかれることを願つてやみません。

サークル活動紹介(5)

親子間の問題を語る

地域での学習会が盛んになっていきました。今回はこの家庭でも問題になっている親と子の関係を研究しているグループを紹介いたします。

PTA母と子を読む会

香川小PTA成人サークルの一つで、毎月、十五日に、メンバー約二十名が、月刊誌「母子」を読みながら、親子間のさまざまな問題について語り合っています。

「本日の勉強とは」「PTAや地域のかかわり」「女の自立」など、今までの、とり上げられたテーマです。毎回、結論は、出ませんが、母親という共通の立場で、経験や、悩みを出し合い語り合う中から、得られる事柄は、大変、貴重なものだと思います。

十二月には、児童文学者、高橋先生、二月には、つくし、の西村先生を囲んで、座談会を開く予定にしています。

香川地区体育振興会、教育功労者として表彰される



体育振興会会員のみなさん

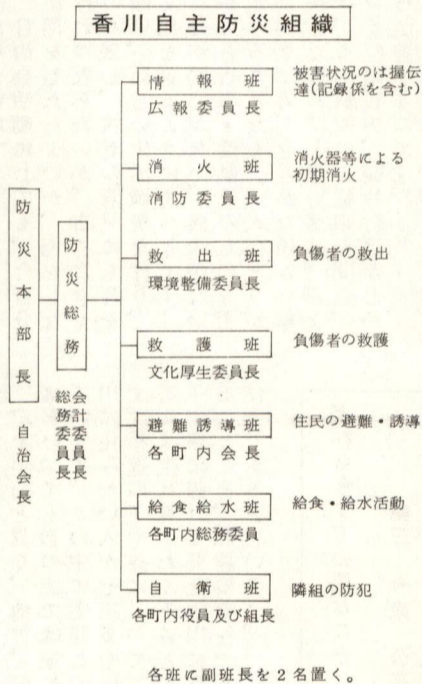
香川地区体育振興会は、教育功労者として、市教育委員会より表彰され、賞状と記念品が贈られ、日ごろの功績をたたえられました。

香川地区体育振興会は、香川自治会を母体として発足以来、香川のために体育大会、バレーボール教室、ソフトボール大会、早朝ランニング会、バトミントン大会、卓球教室などを開催し、体力の向上と親睦に大いに力をかけています。また、ジョッキィングや、おとしよりのゲートボール教室なども計画されています。

地震にそなえて

自主防災組織でできる

自治会では、東海大地震にそなえて、防災対策を進めていますが、自主防災組織を次のように決めました。この組織は自治会としての大骨組です。この組織に各町内会の具体的な組織を組込んで完全なものとなす。



駅前自転車を考えてよう 歩行者も広場も泣いている

バイコロジイ公害

香川駅前の自転車はおどろくほどの数になっていきました。駅前庭は自転車で一杯になり、やどと通路が確保されるありさまです。駅の北側にも線路沿いに長く置かれています。このままでは、歩行者となり安全上問題になりそうです。放置さればなしの自転車も多く見られます。そのために清掃がゆき届かなく、見苦ししい香川駅前となっています。

香川地区体育大会

第二町内会優勝

地域住民の健康増進と親睦をはかるため「老若男女総参加による手づくりの大会」を合言葉とする第十一回香川地区体育大会は、九月三十日、香川小学校グラウンドで開かれました。この日は台風十六号の影響であいにくの雨模様。雨天をにらみながら行われた大会でしたが、そこは各町内会の名譽をかけた熱戦やら、楽しいゲーム、珍プレーが続出し、大いに盛り上りました。



走るウーマンパワー

香川駅移設とホーム屋根

年度内に完成

香川駅の乗降は、通勤客に北陵高校と寒川高校の学生で混雑し、駅前には人であふれんばかりになるところがあります。駅舎のために道路の見通しが悪く、危険な場所となっています。自治会では、市・国鉄に改善工事をすすめるように要請してききましたが、この程工事が実施されることになり、年度内(五十五年三月)に完成する見通しとなりました。工事が完成しますと、見通しのよいすっきりした駅前になります。また、プラットホームの屋根の設置も年度内に完成することになりました。

編集後記

この号は、アンケート特集号としておとどけします。各町内の方の「アンケート調査結果に思う」はそれぞれの立場から見ていただき、含蓄の深いものとなりました。協力ありがとうございました。

訃報

ここに謹んで哀悼の意を表します。

Table listing names and dates of obituaries: 熊沢 伊助殿 64才 9月1日, 荻 ムツ江殿 77才 9月7日, etc.